

齋賀医院壁新聞

文献情報と院内案内 齋賀医院ホームページに戻る場合戻るボタンをおしてください

検索ボックス

<< 2022年07月 >>

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

最近の記事

[\(07/22\)心不全治療薬のエンレス
トは万能薬か？](#)

[\(07/20\)オミクロン株の変異の猛
威](#)

[\(07/19\)インフルエンザと新型コ
ロナの同時流行の懸念](#)

[\(07/15\)C型肝炎のウイルス治癒後
でも肝がんの発生に注意](#)

[\(07/13\)今季のインフルエンザワ
クチンの推奨](#)

最近のコメント

[<< 喘息のレスキューにアルブテノール+ブデソニド その1 | TOP | 糖尿病治療の第一選択はSGLT-2
阻害薬? >>](#)

2022年05月24日

喘息のレスキューにアルブテノール+ブデソニド 本論文

喘息のレスキューにアルブテノール+ブデソニド 本論文

Albuterol-Budesonide Fixed-Dose Combination Rescue
Inhaler for Asthma MANDALA研究

[This article was published on May 15, 2022, at NEJM.org.]



喘息発作の治療に、短期作用β刺激薬（SABA）が主役です。喘息発作は気管支平滑筋の痙攣が病態ですが、その根底には炎症が存在します。よってSABAだけでは発作改善には限界があり、逆にSABAの使用頻度が喘息のコントロール不良の指標ともなります。喘息のガイドンスでもあるGINAも、喘息発作のレスキューとしてSABAと吸入ステロイドの併用を勧めています。SABAの中でもアルブテノール（サルタノール、ベネトリン）は世界で一番使用されていますし、FDAに承認されている唯一のレスキューとしてのSABAです。アストラゼネカのPT027（アルブテノール+ブデソニド）合剤の試験結果が雑誌NEJMに掲載されています。

[オミクロン株の変異の猛威](#) by

(07/21)

[オミクロン株でグループ症候群は](#)

[起きるのです。その2](#) by

(06/06)

[糖尿病治療薬GLP-1作動薬と胆嚢](#)

[疾患](#) by (04/26)

[4回目の接種・イスラエルからの2](#)

[つの報告](#) by (04/26)

[モデルナワクチンのブースター効](#)

[果・その2](#) by (02/04)

タグクラウド

カテゴリ

[小児科](#)(223)

[循環器](#)(247)

[消化器・P P I](#)(147)

[感染症・衛生](#)(276)

[糖尿病](#)(128)

[喘息・呼吸器・アレルギー](#)(99)

[インフルエンザ](#)(106)

[肝臓・肝炎](#)(62)

[薬・抗生剤・サプリメント・栄養](#)

[指導](#)(51)

[脳・神経・精神・睡眠障害](#)(47)

[整形外科・痛風・高尿酸血症](#)(32)

[ワクチン](#)(73)

[癌関係](#)(11)

[脂質異常](#)(28)

[甲状腺・副甲状腺](#)(19)

[婦人科](#)(10)

[泌尿器・腎臓・前立腺](#)(41)

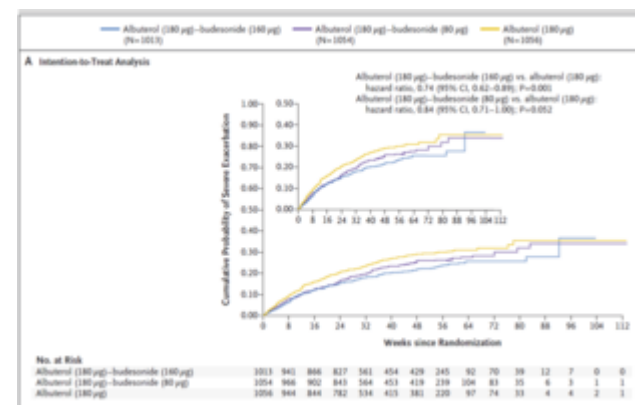
[熱中症](#)(7)

[日記](#)(23)

[その他](#)(80)

過去ログ

- 1) 中等症以上でコントロール不良の喘息患者のレスキューが対象です。
12歳以上の患者、3,132名を3群に分けています。
高容量群 (アルブテノール90μg+ブデソニド80μgを2回吸入)
低用量群 (アルブテノール90μg+ブデソニド40μgを2回吸入)
単独群 (アルブテノール90μgを2回吸入)
期間中に一日に吸入を行った回数は3群とも同じで、1.5回よりも少ないようです。
また吸入の反応により高容量群と低用量群の間では、個人の判断で変更が可能としています。
4歳から11歳の年齢層では、低用量群と単独群だけで試験を行っています。
主要転帰は、重症発作時でのレスキューから最初の発作までの時間です。
- 2) 結果
97%が12歳以上で実施されています。
重症発作のリスクは単独群と比較して高容量群が26%軽減 (危険率は0.74)
単独群と比較して低用量群では危険率は0.84でした。
副反応は3群ともに同じでした。(アルブテノールの容量が同じのためでしょうか)
- 3) 考察
本試験はコロナ禍でも実施されました。
小児の症例が少ないのが残念ですが、今後の研究が待たれます。
- 4) 結論
重症の喘息増悪(発作)では、トータルでアルブテノール180μg+ブデソニド160μgの固定吸入が有効でした。



[2022年07月](#)(10)
[2022年06月](#)(15)
[2022年05月](#)(15)
[2022年04月](#)(14)
[2022年03月](#)(15)
[2022年02月](#)(14)
[2022年01月](#)(16)
[2021年12月](#)(14)
[2021年11月](#)(17)
[2021年10月](#)(17)
[2021年09月](#)(13)
[2021年08月](#)(16)
[2021年07月](#)(12)
[2021年06月](#)(16)
[2021年05月](#)(16)
[2021年04月](#)(14)
[2021年03月](#)(18)
[2021年02月](#)(19)
[2021年01月](#)(16)
[2020年12月](#)(17)
[2020年11月](#)(15)
[2020年10月](#)(17)
[2020年09月](#)(19)
[2020年08月](#)(14)
[2020年07月](#)(17)
[2020年06月](#)(14)
[2020年05月](#)(21)
[2020年04月](#)(18)
[2020年03月](#)(18)
[2020年02月](#)(18)
[2020年01月](#)(19)
[2019年12月](#)(14)
[2019年11月](#)(15)
[2019年10月](#)(18)
[2019年09月](#)(18)
[2019年08月](#)(14)
[2019年07月](#)(14)
[2019年06月](#)(16)
[2019年05月](#)(14)
[2019年04月](#)(18)
[2019年03月](#)(19)
[2019年02月](#)(19)

私見)

従来より、急性増悪の場合にはサルタノールもしくはベネトリン吸入後にステロイド吸入を行っていましたが、合剤が発売になれば治療の選択肢は増えるので、私としては歓迎です。取り敢えずは、サルタノール+フルタイド、サルタノール+シンビコート、コンプレッサーによるベネトリン+パルミコートも治療戦略でしょうか。

[PT027, a novel fixed-dose combination.pdf](#)

0

0

いいね!

ツイート

ブックマーク

【喘息・呼吸器・アレルギーの最新記事】

[雷雨は喘息発作を誘発する](#)
[喘息のレスキューにアルブテノール+ブデソ..](#)
[潜在性結核感染症](#)
[急性細気管支炎](#)
[中等症以上の喘息治療は3剤併用療法が有効..](#)

posted by 斎賀一 at 20:54 | [喘息・呼吸器・アレルギー](#)

[2019年01月](#)(15)

[2018年12月](#)(16)

[2018年11月](#)(20)

[2018年10月](#)(20)

[2018年09月](#)(18)

[2018年08月](#)(24)

[2018年07月](#)(18)

[2018年06月](#)(18)

以降はカテゴリーで検索してください。

[RDF Site Summary](#)
[RSS 2.0](#)

